

カリキュラム

実施機関名：船橋情報ビジネス株式会社

D. データ活用	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
表計算ソフト活用	

コースのねらい	業務の効率化を目指して、事務処理に必要なデータ処理における表計算ソフトの関数の効果的な活用方法を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	データの処理	(1)関数とは 関数とはなにか、演算子との違いはなにかを説明する。基礎知識として関数の入力方法を確認する。 (2)計算式の入力(合計、平均)【演習あり】 主な内容「(1)関数とは」において説明した事項を練習する。入力とエラーに慣れることを目的とする。 (3)絶対参照と相対参照【演習あり】 関数を活用する上で必要な知識である絶対参照と相対参照を学ぶ。エラーから絶対参照の役割を練習し、理解の定着を図るため、演習を取り組む。	1.5
	2	関数の実務活用	(1)論理関数(IF,AND,OR等)【演習あり】 複数の条件を設定する。条件をもとに結果を表示する関数を練習する。 (2)検索関数(VLOOKUP等)【演習あり】 参照表から目的のデータを取り出す方法を学ぶ。一致する値を検索できる検索関数を複数学び、最も適した関数を判断できるようになる。 (3)情報関数(ISERROR等)【演習あり】 セルがエラーの場合にメッセージを表示する関数や、セルが数値の場合に計算する関数などセルに入力された値の情報や現在開いているファイルが持つステータス情報などを取得するための関数を学ぶ。 (4)その他の関数【演習あり】 日付、時刻関数(DATE等)や文字列操作関数(MID, LEFT等)など実務の活用頻度が高いものを学び、実際に操作する。	3.5
	3	生成AIの活用	(1)生成AIとは 生成AIの概要と種類を紹介する。特徴を理解し、適切な生成AIを選択できるようにする。 (2)表計算ソフトでの活用シーン【演習あり】 シナリオ作成は勿論のこと、画像作成や提案書作成支援について活用できる旨を演習を通して体験する。 (3)守るべき倫理・安全性・透明性・責任等 活用する上での危険性にはどのようなものがあるのか、情報漏えいや著作権、内容の精査する必要性などを理解する。	1.0
合計時間			6.0	